

本書の構成

準備／基本

必ずお読みください！

本機をお使いになるための準備や基礎的な知識、基本的な共通操作などまとめて説明しています。

 準備／基礎知識 1

 共通操作 2

 電話 3

セキュリティ

セキュリティを強化する機能について説明しています。

 セキュリティ 4

機能

本機の代表的な機能を章単位ごとにまとめて説明しています。お使いになりたい機能の章をお読みください。

 メール 5

 インターネット 6

 カメラ 7

 テレビ 8

 音楽／S!アプリ 9

 エンタテインメント 10

ツール

本機で利用できるその他の便利なツール（道具）について説明しています。

 ツール 11

データ管理／通信

データフォルダやデータ通信を利用したデータ管理について説明しています。

 データ管理 12

 通信 13

カスタマイズ

使いこなすためのカスタマイズ方法について説明しています。

 カスタマイズ 14

資料／各種情報／索引

本機についての資料や各種情報、索引をまとめています。

 資料／付録 15

ご注意！

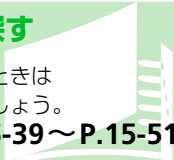
本書は、基本的にお買い上げ時の状態での操作方法を説明しています。設定を変更されていたり、他の機能が動作しているときなどは、動作が異なったり、動作しないことがあります。あらかじめご了承ください。

カンタン検索

●機能やサービスの名前から探す

機能やサービスの名前がわかっているときは
目次や索引、インデックスから探しましょう。

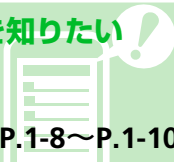
P.x～P.xi、P.15-39～P.15-51



●画面の表示やマークの意味を知りたい

「ディスプレイについて」から探すことが
できます。

P.1-8～P.1-10



●基本的な操作を覚えたい

メニューからの機能選択が操作の基本です。
ボタンの使い方などもおぼえておきましょう。

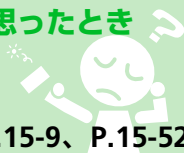
P.2-2～P.2-9



●おかしいな…故障かな？と思ったとき

故障かな？と思ったらご覧ください。
保証とアフターサービスについても
説明しています。

P.15-6～P.15-9、P.15-52



●こんなことがしたい！

したいことや目的が決まっているときは
ここから探すことができます。



とにかく早く
基本操作を
覚えたい

新しいケータイを
友達に知らせたい

自分だけの
ケータイに
カスタマイズ

電話やメール
以外でも
便利に使いたい

ソフトバンク
ケータイだから
できる

操作の基本を覚えたい メニューからの機能選択が操作の基本です。ボタンの使い方も覚えましょう。 P.2-2	文字入力のしくみを覚えたい メールなどでは文字入力が必要です。便利な入力方式も活用しましょう。 P.2-12	メールを使ってみたい メールを目的に応じて使い分けましょう。 P.5-2	インターネットを利用したい ソフトバンクならではのYahoo! 連動サービスが利用できます。 P.6-2
自分の電話番号を確認したい 自分の番号は、簡単な操作で確認できます。 P.1-23	自分の情報を登録したい 自分の情報を登録しておく、友達に伝えるときなどに便利です。 P.1-23	アドレスを変更したい 好きなメールアドレスに変更できます。 P.14-22	近くの友達にアドレスを伝えたい 赤外線通信が便利です。自分の情報を登録してから操作しましょう。 P.13-2
音楽を入手したい 簡単なメニュー操作で着うたサイトからダウンロードできます。 P.9-4	音楽などを着信音に設定したい 着信音設定で音楽を選ぶだけでOKです。 P.14-10	待受画面をアレンジしたい 好きな画像を背景画像に設定して、その上に時計やカレンダーを表示できます。 P.14-4	各機能をカンタンに使いたい よく使う機能を待受画面に登録して、すぐに呼び出すことができます。 P.2-4
音楽プレイヤーとして使いたい 音楽のダウンロードも簡単にできます。 P.9-2	カメラ／ビデオとして使いたい 静止画や動画を撮影できます。 P.7-2	テレビとして使いたい 移動体通信向け地上波デジタルテレビ「ワンセグ」に対応しています。 P.8-2	おサイフケータイ®として使いたい 本機を、電子マネーを使った買い物の支払いや、交通チケット、ポイントカードなどとして利用できます。 P.11-2
Yahoo! ケータイサイト ソフトバンクケータイ専用のポータルサイトを提供。インターネットをより便利に利用できます。 P.6-3	デコレメール メール本文の文字色や背景などを装飾したり、画像などを挿入して表現豊かなメールを作成できます。 P.5-4	ゲーム機として使いたい S! アプリを使ってみましょう。Yahoo! ケータイからダウンロードもできます。 P.9-8	最新ニュースが知りたい S! 速報ニュースを使ってみましょう。さまざまなニュースの閲覧ができます。 P.10-6

本書の見かた

- 本書は「SoftBank 830N」の取扱説明書です。
- 本書では、「SoftBank 830N」を「本機」と表記しています。
- 本書では、「microSD™メモ리카ード (microSDHC™メモ리카ード含む)」を「メモ리카ード」と表記しています。
- 本書に掲載している待受画面は、本体色「グリッターオレンジ」のお買い上げ時の待受画像を例に掲載しています。また、メインメニューや操作手順などの画面デザインも、お買い上げ時の状態を例に掲載しています。

● タイトル

このページで説明している機能の名前です。

● 機能別アイコン表示

本書をバラバラめくっても、探している章がわかりやすいように各章のタイトル帯上にアイコン表記しています。

● インデックス

探したい機能をすぐに見つけることができます。

● 操作手順

それぞれの操作手順を画面にそって説明しています。

● ページ番号

目次や索引の番号を表示しています。

基本操作ページ

●各機能の基本操作を画面中心に、わかりやすく説明しています。

S!速報ニュース

S!速報ニュースを利用する
登録したニュースの情報を自動的に更新して、待受画面から確認することができます。

ニュースを登録する
(例) S!速報ニュース一覧のニュースを登録する

1 (長押し)

2 「登録はこちら」 ⇄ 「YES」

3 ニュースを選択 ⇄
画面の指示に従って登録してください。

更新情報を確認する

1 [S!速報ニュース一覧画面] でニュースを選択 ⇄

2 目的の情報を選択 ⇄
■次の更新情報を表示する場合 ⇄

もっと使いこなそう

便利な機能
S!速報ニュースに関する機能

- リストを手動で更新する
- リストを自動で更新する
- 登録したニュースの情報を確認する
- 登録したニュース/項目を削除する (▶ P.10-10)

設定
S!速報ニュースに関する設定

- S!速報ニュースを待受画面に表示しないようにする
- テロップの表示速度を設定する
- S!速報ニュースに表示する情報を設定する
- S!速報ニュースの画像を表示しないようにする
- S!速報ニュースの登録内容をリセットする (▶ P.14-36)

● 便利な機能

もっと便利な機能を記載したページを案内しています。

● 設定

この章の機能を設定するページを案内しています。

操作にあたっての注意事項

- 本書では、とくにことわりがないかぎり本機を開いた状態で、待受画面からの操作を中心に説明しています。

応用操作ページ

●各機能の操作をボタン操作を中心に、簡単に説明しています。

便利な機能

モバイルウィジェットに関する機能

開始画面はここから
[待受ウィジェット操作画面] → P.10-3

ウィジェットコンテンツの位置を変更する
[待受ウィジェット操作画面] → P.10-3

SI連携ニュースに関する機能

画面はここから
[SI連携ニュース一覧画面] → P.10-6

リストを手動で更新する
[SI連携ニュース一覧画面] → P.10-6

リストを自動で更新する
[SI連携ニュース一覧画面] → P.10-6

ウィジェットコンテンツを前面／背面に配置する
[待受ウィジェット操作画面] → P.10-3

登録したニュースの情報を確認する
[SI連携ニュース一覧画面] → P.10-6

登録したニュース／項目を削除する
[SI連携ニュース一覧画面] → P.10-6

1件削除の場合
● [1件削除] → [YES] → [OK] (2回)

全削除の場合
● [全削除] → [YES] → [OK] (2回) → 端末確認番号を入力 → [OK] (2回)

どんなときに利用できるかを表記しています。

設定操作ページ (カスタマイズ)

●各機能をカスタマイズする設定操作を、表形式で説明しています。

エンタテイメント設定

SI連携ニュースに関する設定

共通操作
[待受設定] → [エンタテイメント] → [SI連携ニュース] → [設定] → [OK] (2回)

SI連携ニュースを待受画面に表示しないようにする
[待受設定] → [SI連携ニュース] → [表示速度設定] → [表示しない] → [OK] (2回)

デロップの表示速度を設定する
[待受設定] → [SI連携ニュース] → [表示速度設定] → [速い] / [標準] / [遅い] → [OK] (2回)

SI連携ニュースに表示する情報を設定する
[待受設定] → [SI連携ニュース] → [表示速度設定] → [速い] → [未読・既読全て] / [未読・既読全て] → [OK] (2回)

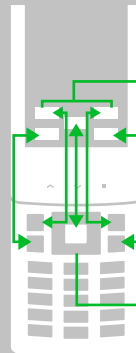
SI連携ニュースの表示をしないようにする
[待受設定] → [SI連携ニュース] → [表示速度設定] → [表示しない] → [OK] (2回)

SI連携ニュースの登録内容をリセットする
[SI連携ニュース一覧画面] → [YES] → [OK] (2回) → 端末確認番号を入力 → [OK] (2回)

設定操作を説明しています。

ソフトボタン／マルチセクターボタンについて

画面下部に表示されている内容を実行する場合は、それぞれの表示に対応するボタンを押します。



ソフトボタンの表記について

本書では、ソフトボタンを押す操作を次のように表記しています。

- 左上ソフトボタン → [戻る]
- 中央ソフトボタン → [ホーム]
- 右上ソフトボタン → [アプリ]
- 左下ソフトボタン → [メニュー]
- 右下ソフトボタン → [検索]

マルチセクターボタンの表記について

本書では、マルチセクターボタンを押す操作を次のように表記しています。

- 上を押す → [上]
- 下を押す → [下]
- 左を押す → [左]
- 右を押す → [右]
- 上または下を押す → [上下]
- 左または右を押す → [左右]
- 上下左右を押す → [十字]

画面表示について

本書で記載されているイラストや表示画面は、実際の形状や字体および表示や画面などと異なる場合があります。また周囲の明るさなどにより、実際の画面の階調と明るさが異なる場合があります。

知的財産権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロード等により取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信等することはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。
- モバイルウィジェット、S! アプリ、TV コール、S! 情報チャンネル、S! 電話帳バックアップ、S! メール、S! 速報ニュース、デコレメール、デコレメ、PC サイトブラウザ、生活アプリ、安心遠隔ロック、お天気アイコンは、ソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。
- SOFTBANK およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
- 「Yahoo!」 および 「Yahoo!」 「Y!」 のロゴマークは、米国 Yahoo! Inc. の登録商標または商標です。
- おサイフケータイ[®]は、株式会社 NTT ドコモの登録商標です。

- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、米国 Qualcomm Incorporated よりライセンスされています。

Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations:

4,901,307 5,490,165 5,056,109
5,504,773 5,101,501 5,506,865
5,109,390 5,511,073 5,228,054
5,535,239 5,267,261 5,544,196
5,267,262 5,568,483 5,337,338
5,600,754 5,414,796 5,657,420
5,416,797 5,659,569 5,710,784
5,778,338

- T9[®]は、Nuance Communications, Inc., および米国その他の国における Nuance 所有法人の商標または登録商標です。



- microSD[™] ロゴおよび microSDHC[™] ロゴは、商標です。



- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
 - ・ MPEG-4 Visual の規格に準拠する動画 (以下、MPEG-4 Video) を記録する場合
 - ・ 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された MPEG-4 Video を再生する場合

- ・ MPEG-LA よりライセンスをうけた提供者により提供された MPEG-4 Video を再生する場合
プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人 MPEG LA, LLC にお問い合わせください。
- 本製品は、Adobe Systems Incorporated の Adobe® Flash® Lite™ Player を搭載しています。
 Adobe Flash Enabled
Copyright© 1995-2009 Adobe Macromedia Software LLC. All rights reserved.
Adobe、Flash および Flash Lite は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
- QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Powered by JBlend™ Copyright 2002-2009 Aplix Corporation. All rights reserved.
 JBlend™
JBlend および JBlend に関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
 Java Powered
- 「着うた®」「着うたフル®」は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
- 本製品は、株式会社 ACCESS の NetFront Mobile Client Suite を搭載しています。
 ACCESS NetFront Mobile Client Suite
ACCESS、NetFront は、日本国、米国およびその他の国における株式会社 ACCESS の商標または登録商標です。
Copyright© 2008 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

- 本製品の一部分に Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は、株式会社 ACCESS の IrFront を搭載しています。
 IrFront
©2008 ACCESS CO., LTD. All right reserved.
- Bluetooth とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。日本電気株式会社は、Bluetooth SIG, Inc. とのライセンスに基づき使用しています。
 Bluetooth™
- 「マルチタスク / Multitask」「プライバシーアングル」「ライフビューア」「クイックインフォ」「デスクトップインフォ」「クイックアルバム」「ワード予測」「ともでん」「ともまとめーる Box」は、日本電気株式会社の商標または登録商標です。
- Powered By Mascot Capsule®/Micro3D Edition™
MASCOT CAPSULE® は、株式会社エイチアイの登録商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDEMOBILE、および Gガイド関連ロゴは、米 Gemstar-TV Guide International, Inc. およびその関係会社の日本国内における登録商標です。
- IrSimple™、IrSS™ または IrSimpleShot™ は、Infrared Data Association® の商標です。
- ハイパークリアボイスは、SRS Labs, Inc. よりライセンスされた SRS VIP+ 技術に基づき製品化されています。
SRS、VIP+、および (●) 記号は SRS Labs, Inc. の商標です。

- TruMediaとDialog Clarity技術は、SRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。
TruMedia、Dialog Clarity、SRSと(●●)記号は、SRS Labs, Inc.の商標です。
- 本製品には、GNU General Public License (GPL)、GNU Lesser General Public License (LGPL) その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
当該ソフトウェアに関する詳細は、
<http://www.n-keitai2.com/guide/download/>の「GPL・LGPL等について」をご覧ください。
- フレーム補間機能には株式会社モルフォのFrameSolid™を採用しております。
FrameSolid™は、株式会社モルフォの商標です。
- 本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。
- BookSurfingは株式会社セルシス、株式会社バイジャー、株式会社インフォシティの登録商標です。
- ㇿは、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- Microsoft®およびWindows®、Windows Media®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における商標または登録商標です。



- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
 - ・ Windows Vistaは、Windows Vista® (Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate) の略です。
 - ・ Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
 - ・ Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
- 本製品は、抗菌加工を施しております。
抗菌対象箇所は、携帯電話ボディ（ディスプレイ、各種ボタン、端子部除く）
無機抗菌剤・塗装・JP0122112A0003N
SIAAマークは、ISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。
- ©ATR-Trek Co.,Ltd.
- ©赤塚不二夫／ぴえろ
- ©TOMY
- ©2006 タカラトミー /KL/H
- ©SUGAR
- TM&©2008 Felix the Cat Productions, Inc. All Rights Reserved
- ©DAIKIN.H.T., 2000
- ©T2i Entertainment
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。



目次

本書の構成	i
カンタン検索	ii
本書の見かた	iv
目次	x
お買い上げ品の確認	xii
安全上のご注意	xiii
お願いとご注意	xxiv
携帯電話機の比吸収率 (SAR) に ついて	xxxii
Safety Precautions	xxxiv
General Notes	xlvi

1 準備／基礎知識

各部の名称	1-2
ディスプレイについて	1-8
USIMカードのお取り扱い	1-11
電池パックと充電器の お取り扱い	1-15
電源ON／OFF	1-19
マナーについて	1-21
暗証番号について	1-22
その他の基礎知識	1-23

2 共通操作

基本操作	2-2
マルチタスク	2-10

文字入力	2-12
電話帳	2-20
S! 電話帳バックアップ	2-27
便利な機能	2-29

3 電話

電話について	3-2
音声電話	3-3
TVコール	3-7
通話情報の確認	3-10
スピードダイヤル	3-12
海外での利用 (世界対応ケータイ)	3-13
オプションサービス	3-14
便利な機能	3-16

4 セキュリティ

PINコード設定	4-2
無断で利用されたくないとき	4-3
電話の発着信制限	4-7
秘密にしたいデータの設定	4-9

5 メール

メールについて	5-2
---------------	-----

メール送信	5-3
メール受信／確認	5-7
メール管理／利用	5-10
便利な機能	5-16

6 インターネット

インターネットのしくみ	6-2
Yahoo! ケータイ	6-3
PC サイトブラウザ	6-5
画面操作	6-8
ブックマーク／画面メモ	6-11
便利な機能	6-13

7 カメラ

カメラについて	7-2
静止画撮影	7-5
動画撮影	7-7
いろいろな撮影	7-11
便利な機能	7-14

8 テレビ

テレビについて	8-2
チャンネル設定	8-5
テレビの視聴	8-6

番組の録画／再生	8-10
視聴／録画予約	8-12
便利な機能	8-14

9 音楽／S!アプリ

音楽について	9-2
音楽再生	9-5
S!アプリ	9-8
便利な機能	9-10

10 エンタテインメント

モバイルウィジェット	10-2
S!速報ニュース	10-6
S!情報チャンネル	10-7
電子ブック	10-9
便利な機能	10-10

11 ツール

おサイフケータイ®	11-2
ライフヒストリービューア	11-6
スケジュール管理	11-8
To Doリスト	11-11
テキストメモ	11-13
音声メモ	11-14

電卓	11-15
アラーム	11-16
バーコードリーダー	11-18
テキストリーダー	11-20
便利な機能	11-23

12 データ管理

データフォルダについて	12-2
ファイルの確認	12-3
ファイルの編集	12-8
ファイルやフォルダの管理	12-10
メモリカードについて	12-11
メモリカードの管理	12-12
便利な機能	12-15

13 通信

赤外線通信	13-2
Bluetooth®	13-5
パソコン接続	13-9
便利な機能	13-11

14 カスタマイズ

時計／画面／音の設定	14-2
電話帳／電話の設定	14-16

メール設定	14-21
インターネット設定	14-25
テレビ設定	14-27
カメラ設定	14-31
プレーヤー／S!アプリ設定	14-33
エンタテインメント設定	14-35
その他の設定	14-38

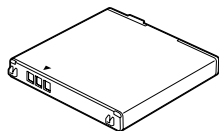
15 資料／付録

マルチタスクの組み合わせ	15-2
ソフトウェア更新	15-4
故障かな？と思ったら	15-6
ダイヤルボタン割り当て一覧	15-10
区点コード一覧	15-13
メニュー一覧	15-19
仕様	15-34
索引	15-39
保証書／アフターサービス	15-52
お問い合わせ先一覧	15-53

お買い上げ品の確認

SoftBank 830N本体のほかに、次の付属品がそろっていることを確かめください。オプション品としても取り扱いしております。付属品、オプション品につきましては、お問い合わせ先（P.15-53）までご連絡ください。

■電池パック (NEBAL1)



■ステレオイヤホン変換ケーブル (NELAH1)



■使い方ガイド

■保証書（本体）

SoftBank 830Nは、microSD™メモ리카ード（microSDHC™メモ리카ード含む）に対応しております。ご利用にあたっては、市販のメモ리카ードをご購入ください。

本機の充電には、ソフトバンクが指定したACアダプタを使用してください。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■表示の説明

- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■絵表示の説明

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
 分解禁止	分解してはいけないことを示します。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

安全上のご注意

- 本機、電池パック、USIM カード、AC アダプタ、メモリカード（オプション品）、ステレオイヤホン変換ケーブルの取り扱いについて（共通）

⚠ 危険

 指示	本機に使用する電池パック・ACアダプタは、ソフトバンクが指定したものを使用してください。 指定品以外のものを使用した場合は、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、充電器の発熱・発火・故障などの原因となります。
 分解禁止	分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。 火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。 電話機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。
 水濡れ禁止	濡らさないでください。 水やペットの尿などの液体が入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れた電池パックを充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。



禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で充電・使用・放置しないでください。

機器の変形・故障や電池パックの漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。



禁止

本機に電池パックを取り付けたり、ACアダプタを接続する際、うまく取り付けや接続ができないときは、無理に行わないでください。電池パックや端子の向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

⚠ 警告



禁止

本機・電池パック・ACアダプタ・ステレオイヤホン変換ケーブルを、加熱調理機器（電子レンジなど）・高压容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH調理器）の上に置いたりしないでください。

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機とACアダプタの発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

 指示	プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。 ガスに引火する恐れがあります。ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ®対応携帯電話をご利用になる際は、電源を切った状態で使用してください。（ICカードロックを設定されている場合は、ロックを解除した上で電源をお切りください。）
 禁止	落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。 電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。
 指示	使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。 1. コンセントから AC アダプタを持ってプラグを抜いてください。 2. 本機の電源を切ってください。 3. やけどやけがに注意して、電池パックを取り外してください。 異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

 禁止	外部接続端子、メモリカードスロットに水やペットの尿などの液体や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。 ショートによる火災や故障などの原因となります。
---	---

⚠ 注意

 禁止	ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。 落下して、けがや故障などの原因となります。パイプレーター設定中は、特にご注意ください。
 指示	乳幼児の手の届かない場所に保管してください。 誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。
 指示	子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。 けがなどの原因となります。

安全上のご注意

 禁止	湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。 故障の原因となります。
 指示	本機を開くときに、ヒンジ部（可動部）の周辺に指を挟まないようにご注意ください。 けがなどの原因となります。

■ 電池パックの取り扱いについて

危険

- 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認した上で、ご利用・処分をしてください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

 禁止	火の中に投下しないでください。 電池パックを漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。
---	---

 禁止	釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。 電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。
 禁止	電池パックの端子に、針金などの金属類を接触させないでください。また、導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）と一緒に電池パックを持ち運んだり保管したりしないでください。 電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。
 指示	電池パック内部の液が眼の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。 失明などの原因となります。

警告

 指示	電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。 皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。
---	---

 指示	所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。 電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。
 指示	電池パックの使用・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して電池パックを取り外し、さらに火気から遠ざけてください。 異常な状態のまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。
 指示	電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。 漏液した液体に引火し、発火・破裂の原因となります。
 禁止	落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、直ちに使用をやめてください。 電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や機器の故障、火災の原因となります。
 指示	ペットが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。 電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や機器の故障、火災の原因となります。

⚠ 注意



禁止

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。

端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りの「ソフトバンクショップ」へお持ちください。電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

■ 本機の取り扱いについて

⚠ 警告



禁止

自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。

交通事故の原因となります。

乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。

運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

安全上のご注意

 指示	高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。 電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。 ※ご注意ください電子機器の例 補聴器・植え込み型心臓ペースメーカー・植え込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など
 指示	航空機内では本機の電源を切ってください。 電源が自動的に入る設定（アラーム機能など）をしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。 航空機の安全に支障をきたす恐れがあります。航空機内で携帯電話の電源を入れることは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。
 指示	心臓の弱い方は、着信時のバイブレーション（振動）や着信音量の設定に注意してください。 心臓に影響を与える恐れがあります。
 指示	屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、アンテナを収納し、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。 落雷や感電の原因となります。
 禁止	赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。 目に影響を与える可能性があります。

 禁止	医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。 本機を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。
 指示	ハンズフリーに設定して通話する際は、必ず本機を耳から離してください。また、イヤホンマイクを本機に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。 音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。
 禁止	エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所に本機を置かないでください。 エアバッグが展開した場合、本機が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。
 指示	万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本機の内部にご注意ください。 ディスプレイ部には強化ガラスを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

 禁止	本機内のUSIMカード挿入口やメモ리카ードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
---	--

⚠ 注意

 指示	車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。 本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。
 指示	本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。 本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。(使用材料⇒P.15-35)
 禁止	本機に磁気カードなどを近づけたり、挟んだりしないでください。 キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

 禁止	アンテナ、ストラップなどを持って本機を振り回さないでください。 本人や周囲の人に当たったり、ストラップが切れたりして、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。
 指示	本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。 長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。
 禁止	着信音が鳴っているときや、本機でメロディを再生しているとき、ハンズフリーでの通話中などは、スピーカーに耳を近づけないでください。 難聴になる可能性があります。
 指示	本機をスライドする際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。 けがなどの事故や破損の原因となります。
 指示	デジタルテレビを視聴するときは、充分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。 視力低下につながる可能性があります。

安全上のご注意

 指示	イヤホンを使用するときは音量に気をつけてください。 長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためたりする原因となります。
 禁止	誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。 液晶が目や口に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。 失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
 禁止	人の多い場所では、使用しないでください。 アンテナが他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。
 禁止	アンテナが破損したまま使用しないでください。 肌に触れるとやけどなど、けがなどの事故の原因となります。
 禁止	本機に磁気を帯びたものを近づけないでください。 強い磁気を近づけると誤作動を引き起こす可能性があります。

■USIMカードの取り扱いについて



 指示	USIMカード（IC部分）を取り外す際は切断面にご注意ください。 手や指を傷つける可能性があります。
---	---

■ACアダプタの取り扱いについて



 禁止	充電中は、ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。 落下して本機が外れたり、故障などの原因となります。
 禁止	充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。 熱がこもって火災や故障などの原因となります。

 禁止	指定以外の電源・電圧で使用しないでください。 指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。 ACアダプタ：AC100V～240V (家庭用交流コンセント専用) また、海外旅行用として、市販されている「変圧器」は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
 電源プラグを抜く	長時間使用しない場合は、ACアダプタを持ってプラグをコンセントから抜いてください。 感電・火災・故障の原因となります。
 電源プラグを抜く	万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちにコンセントからACアダプタを持ってプラグを抜いてください。 感電・発煙・火災の原因となります。
 指示	プラグにほこりがついたらときは、ACアダプタを持ってコンセントからプラグを抜いて、乾いた布などでふき取ってください。 火災の原因となります。

 指示	ACアダプタをコンセントに差し込むときは、ACアダプタのプラグや端子に導電性異物(鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど)が触れないように注意して、確実に差し込んでください。 感電・ショート・火災などの原因となります。
 濡れ手禁止	濡れた手でACアダプタのプラグを抜き差ししないでください。 感電・故障などの原因となります。
 禁止	雷が鳴り出したら、ACアダプタには触れないでください。 感電などの原因となります。
 指示	ACアダプタのコードが傷んだら使用しないでください。 感電・発熱・火災の原因となります。
 禁止	ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。 感電の原因となります。

安全上のご注意

 禁止	コンセントにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部に触れさせないでください。 火災・故障・感電・傷害の原因となります。
 禁止	ACアダプタのコードの上に重いものをのせたりしないでください。 感電・火災の原因となります。

注意

 禁止	ACアダプタをコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。 けがや故障の原因となります。
 電源プラグを抜く	お手入れの際は、コンセントから、必ずACアダプタを持ってプラグを抜いてください。 感電などの原因となります。

 指示	ACアダプタをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、ACアダプタを持ってプラグを抜いてください。 コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。
 禁止	濡れた電池パックを充電しないでください。 電池パックを発熱・発火・破裂させる原因となります。
 指示  電源プラグを抜く	充電終了後は、コンセントからプラグを抜いてください。 火災・故障の原因となります。

■ 医用電気機器近くでの取り扱いについて

- ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会 [平成9年4月]）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人 電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

警告

 指示	植え込み型心臓ペースメーカおよび植え込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。 電波により植え込み型心臓ペースメーカおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。
 指示	自宅療養など医療機関の外で、植え込み型心臓ペースメーカおよび植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどに確認してください。 電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。



指示

医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼすおそれがあります。

- ・ 手術室・集中治療室（ICU）・冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、本機を持ち込まないでください。
- ・ 病棟内では、本機の電源を切ってください。電源が自動的に入る設定（アラーム機能など）をしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
- ・ ロビーなど、携帯電話の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは本機の電源を切ってください。
- ・ 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。



指示

満員電車などの混雑した場所にいるときは、本機の電源を切ってください。付近に植え込み型心臓ペースメーカおよび植え込み型除細動器を装着されている方がいる可能性があります。電源が自動的に入る設定（アラーム機能など）をしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

電波により、植え込み型心臓ペースメーカおよび植え込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 本機は電波を利用しているため、電波の弱いところ、およびサービスエリア外ではご使用になれません。また、サービスエリア内であっても、ビルの陰、ビル内、トンネル、地下、山間部など、電波の弱いところ、電波の届かないところでは、ご使用になれません。また、通話中にこのような場所へ移動する場合、通話が途切れる場合がありますのであらかじめご了承ください。
- 公共の場所でご利用いただくときは、周囲の方の迷惑にならないように注意してください。
- 歩行中に着信した場合は、周囲の状況を確認し、安全な場所へ移動してからご使用ください。
- 事故や故障などにより本機／メモリーカードに登録したデータ（電話帳、画像、サウンドなど）が消失、変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な電話帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査をうけていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- 傍受にご注意ください。本機はデジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられた場合には、第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点をご理解いただいたうえでご使用ください。

<傍受（ぼうじゅ）とは>

無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

- ストラップなどを挟んだまま、本機をスライドさせないでください。故障、破損の原因となります。
- ディスプレイの表面に、落下や衝撃などにより破損した場合の安全性確保を目的（強化ガラスの飛散防止）とする保護フィルムがあります。このフィルムは無理にはがしたり、傷つけたりしないでください。けがの原因となることがあります。
- 電車などの交通機関で使用情况の場合、まれに電車などに搭載されている電子機器に影響を与えることがありますのでご注意ください。
- 次のような場所は、電話がつかなくなったり雑音が入ることがあります。
 - ・ 製氷倉庫など特に温度が下がる場所に置かないでください。正常に動作しないことがあります。
 - ・ 金属性家具などの近くに置かないでください。電波が飛びにくくなります。
 - ・ 電気製品、AV、OA機器などの磁気を帯びているところ、磁波が発生しているところに置かないでください。（コンピュータ、電子レンジ、スピーカー、テレビ、ラジオ、ファクシミリ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバーターエアコン、電磁調理器など。）

- Bluetooth搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
 - ・ この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 - ・ 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、使用場所を変えるか、または電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
 - ・ そのほか、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、下記連絡先へお問い合わせください。
- 連絡先：ソフトバンク お客様センター
 ソフトバンク携帯電話から157（無料）
 （一般電話からおかけの場合、「お問い合わせ先」（P.15-53）を参照してください。）
- 落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、故障取扱窓口までご相談ください。
- お客様ご自身で本機に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してください。万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ズボンやスカートの後ろポケットに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、かばんの底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。
 故障の原因となります。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - ・ 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - ・ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、ACアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。故障の原因となります。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

お願いとご注意

- 本機のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。
- 使用周波数は 13.56MHz 帯です。周囲に他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- 強い磁力を近づけないでください。故障の原因となります。
- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかかりたりしないでください。傷つくことがあり故障、破損の原因となります。
- 受話口／スピーカー部分に鋭利な硬いものを入れないでください。本機の故障、破損の原因となります。
- 本機を開いたときにできる、ディスプレイ背面部のすきまに、水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災、感電、故障の原因となります。

自動車内でのご利用にあたって

- 自動車などを運転中に使用しないでください。安全走行を損ない、事故の原因となります。法令によって定められている禁止行為をした場合は罰せられることがあります。
- 車を安全な場所に停車させてからご使用ください。
- 自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあるため、自動車内で使用する際は、十分な対電磁波保護がされているか、自動車販売店にご確認ください。安全走行を損なう原因となります。

航空機の機内でのご利用にあたって

航空機の機内では、絶対にご使用にならないでください。（電源も入れないでください。）運航の安全に支障をきたす恐れがあります。法令によって定められている禁止行為をした場合は罰せられることがあります。

お取り扱いについて

- 水をかけないでください。
本機、電池パック、ACアダプタ、USIMカードは防水仕様にはなっておりません。雨のあたる所や風呂場など、湿気の多い所での使用はおやめください。また、身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
本機のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた

布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。取り扱いには十分ご注意ください、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。

アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

- 端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- 本機や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣服のポケットに入れて座ったりすると、ディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- 使用中、充電中、本機は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- ディスプレイやキーまたはボタンのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。
故障の原因となります。
- 本機の電池パックを長い間外していたり、電池残量の少ない状態で放置したりすると、お客様が登録、設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので注意してください。なお、こうした消失、変化に起因する損害につきましては当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 電池パックは、電池残量なしの状態でも保管、放置をしないでください。
電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
- 通常は外部接続端子キャップをはめた状態でご使用ください。
ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- ステレオイヤホン変換ケーブルやACアダプタを外部接続端子から抜く場合は、コードを引っ張らずプラグを持って抜いてください。コードを引っ張ると断線、故障の原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

お願いとご注意

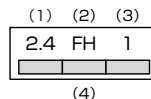
- 極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。本機を極端に高温な場所に放置すると、自動的に電源が切れる場合があります。
- 電池パックは消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- Bluetooth機能は日本国内で使用してください。
本機のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。
- FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。
本機のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ICカード認証機能は日本国内で使用してください。
本機のICカード認証機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
海外でご使用になると罰せられることがあります。
- USIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本機に取り付けしないでください。
故障の原因となります。
- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- 電池カバーを外したまま使用しないでください。
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- 本機のディスプレイ部分の背面に、ラベルやシールを貼らないでください。
本機を開閉する際にラベルやシールが引っかかり、故障、破損の原因となります。
- 本機は、Bluetoothを使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetoothを使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetoothを使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 本機では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオを利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります。(対応しているBluetooth機器のみ)

● 周波数帯について

本機のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

- (1) 2.4 : 2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
- (2) FH : 変調方式がFH-SS方式であることを示します。
- (3) 1 : 想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
- (4)  : 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。



● Bluetooth機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止して電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、お問い合わせ先（P.15-53）までお問い合わせください。

- 付属のステレオイヤホンマイク変換ケーブルを外部接続端子へ接続することでイヤホンマイクをご利用いただけます。

ステレオイヤホン変換ケーブルについて

- ステレオイヤホン変換ケーブルのコネクターは無理に差し込まないでください。正しい向き、正しい角度で差し込まないと接続できません。正しく差し込んだときは、強い力を入れなくてもスムーズに差し込めるようになっています。うまく差し込めないときは、無理して差し込まず、もう一度、コネクターの形や向きを確認してから差し込んでください。無理に差し込むと、破損の恐れがあります。
- ステレオイヤホン変換ケーブルのイヤホン端子にマイク機能のないイヤホンを接続すると、送話することができません。
- ステレオイヤホン変換ケーブルにステレオイヤホンを接続した場合でも、通話などモノラルの音は、左右のイヤホンから同じ音が聞こえます。また、モノラルイヤホンを接続した場合は、ステレオ音声のうち左チャンネルのみが聞こえます。
- ステレオイヤホン変換ケーブルに強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
- ステレオイヤホン変換ケーブルの上に重いものをのせたりしないでください。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

お願いとご注意

カメラについて

お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不法行為等を行った場合、法律、条令（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

スピーカーについて

本機はレシーバー（受話口）とスピーカーが兼用になっているため、音の再生／着信時などに、大きな音がスピーカーから直接耳に入る恐れがあります。大きな音で耳を刺激すると聴力に悪い影響を与える可能性があります。通話後はすぐ耳から離すなど注意してご使用ください。

タッチセンサーについて

タッチセンサーの表面を強く押したり、つまやボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作しないでください。
タッチセンサーが破損する原因となります。

著作権などについて

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記目的を超えて、権利者の了承なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、著作物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作権人権的侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。

本機を使用して複製など行う場合は、著作権法を遵守のうえ、適切にご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本機にはカメラ機能が搭載されておりますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

本機に搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作者人格権などをはじめとする著作者等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等を行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

機能制限について

本機を機種変更、解約、長期間使用しなかった場合はテレビの機能が利用できなくなります。

注意

改造された本機は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。本機は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク」が本機の銘版シールに表示されております。本機のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種〈830N〉の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが 2W/kg ※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第 14 条の 2）で規定されています。

この携帯電話機〈830N〉のSARは、 0.362W/kg です。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもあります。いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm>

社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/initiation/sar.html>

「ソフトバンクのボディ SAR ポリシー」について

* ボディ（身体）SARとは：携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率（SAR）のことです。

** 比吸収率（SAR）：6分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。

*** 身体装着の場合：一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

ソフトバンクのホームページからも内容をご確認いただけます。

<http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.html>

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

この携帯電話機（830N）は無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSAR許容値は2W/kgで、身体に装着した場合のSARの最高値は0.438W/kgです。

SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。

世界保健機構は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機構のホームページをご参照ください。

<http://www.who.int/emf>（英文のみ）

* 身体に装着した場合の測定試験はFCCが定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。

Safety Precautions

- To ensure proper use of your handset, read these safety precautions carefully before use. Keep this guide for future reference.
- Observe these safety precautions to prevent injuries and damages to property.
- SoftBank accepts no liability for any loss or damages incurred by you or a third party as a result of missed calls, etc., due to malfunction, erroneous operation or failure of this product.

■ Labels

- Risks of injury or damage from improper use are categorized by levels. Understand these labels before reading this guide.

 DANGER	Great risk of death or serious injury from improper use
 WARNING	Risk of death or serious injury from improper use
 CAUTION	Risk of injury or damage to property from improper use

■ Symbols

- Make sure to understand the following symbols and precautions before reading this guide.

	Action is prohibited.
	Disassembly is prohibited.
	Wetting the product is prohibited.
	Handling with wet hands is prohibited.
	Action is compulsory.
	Unplug power cord.

■ Handset, Battery, USIM Card, AC Charger (Sold Separately), Memory Card (Not Included), & Stereo Earphone Conversion Cable

DANGER

	Use SoftBank specified devices (Battery, AC Charger, etc.) only. Use of non-specified devices may cause Battery to leak, overheat, rupture or ignite; or may cause Charger to overheat, ignite, or malfunction.
	Do not disassemble/modify/solder handset. May cause fire, injury, electric shock or malfunction. Also, Battery may leak, overheat, rupture or ignite. Modification of telephone equipment violates statutory regulations and is subject to penalty.
	Keep liquids away from handset. If handset and/or battery is not dried after exposure to fluids (water, pet urine etc.), overheating, electric shock, fire, malfunction, etc. may occur.

	Do not charge, use, or leave handset in places subject to high temperatures (near an open flame or heating equipment, in direct sunlight or inside a car on a hot day). May cause deformation or malfunction; or may cause Battery to leak, overheat, ignite, or rupture. Also, the outer housing may become hot resulting in burns. Stop vehicle in a safe location (where parking is allowed) before using handset.
	Do not use excessive force to attach Battery or connect AC Charger to handset. Battery or AC Charger may be the wrong way around. Battery may leak, overheat, rupture or ignite.

WARNING



Do not place handset, Battery, AC Charger, or Stereo Earphone Conversion Cable in a microwave oven or pressure cooker, or on top of an induction heating (IH) cooktop.

May cause Battery to leak, overheat, rupture or ignite; or may cause handset/AC Charger to overheat, emit smoke, ignite, or malfunction.



Turn off handset when entering gas stations or other places where flammable gases (propane gas, gasoline, etc.) generate. Do not charge battery in such places.

Gases may ignite.
Before using a mobile phone with Osaifu-Keitai® inside a gas station, be sure to turn it off. (If IC card lock is activated, first deactivate it and turn power off.)



Do not drop or throw handset or expose it to excessive shock.

May cause battery to leak, overheat, rupture or ignite; or may cause fire, electric shock, or malfunction.



If you notice an unusual sound, odor, smoke, etc. while using, charging or storing handset, immediately do the following:

1. Unplug AC Charger from outlet.
 2. Turn handset power off.
 3. Remove Battery from handset, being careful of burn or injury.
- Continuing use may cause fire or electric shock.



Keep liquids (water, pet urine, etc.) and conductive materials (e.g. pencil lead, metal fragments or metal necklaces, hairpins, etc.) away from External Device Port and Memory Card Slot.

May cause short circuit, resulting in fire or malfunction.

CAUTION



Do not place handset on a sloping or unstable surface.

May cause handset to fall resulting in injury or malfunction. Take particular care when vibrator is activated.



Keep handset out of reach of infants.

Failing to do so may result in small parts being accidentally swallowed, or may cause injury.



When a child uses handset, it is recommended that a parent provide proper instructions to the child and keep an eye on how the child uses handset.

Failing to do so may cause injury, etc.



Do not store handset in humid or dusty places or in places subject to high temperatures.

May cause malfunction.



Be careful not to pinch your fingers in the hinge when opening handset.

Failing to do so may cause injury.

Handling Battery

DANGER

- Properly use and dispose of Battery after checking its type as displayed on the label on Battery.

Display	Battery type
Li-ion00	Lithium-ion



Do not throw Battery into a fire.

May cause Battery to leak, rupture or ignite.



Do not puncture Battery with a nail, hit it with a hammer, step on it, or subject it to strong impact.

May cause Battery to leak, overheat, rupture or ignite.

Safety Precautions



Do not let metal objects (pins, etc.) come in contact with Battery Terminals. Do not carry or store conductive materials (e.g. pencil lead, metal fragments or metal necklaces, hairpins, etc.) together with Battery.

May cause Battery to leak, overheat, rupture, or ignite.



If battery fluid gets into your eyes, immediately rinse your eyes with clean water without rubbing them, and consult a doctor.

Failing to do so may result in losing your eyesight.



WARNING



If battery fluid gets on your skin or clothing, immediately stop using and rinse the fluid off with clean water.

Battery fluid may injure your skin.



If Battery is not fully charged after the specified charging time has elapsed, stop charging it.

If you continue charging, Battery may leak, overheat, rupture or ignite.



If you notice an unusual odor, overheating, discoloration, deformation, etc. while using, charging or storing Battery, remove it from handset being careful of burn or injury, and keep it away from fire.

Continuing use may cause Battery to leak, overheat, rupture or ignite.



If Battery leaks or emits an unusual odor, immediately stop using it and keep it away from fire.

Battery fluid is flammable and could ignite causing fire or could rupture.



If an abnormality in Battery from external impact (deformed or scratched from dropping) is visible, immediately discontinue use.

May cause Battery to leak, overheat, rupture, ignite; may cause handset malfunction or fire.



Do not allow pets to bite Battery.

May cause Battery to leak, overheat, rupture, ignite; may cause handset malfunction or fire.



CAUTION



Do not dispose of batteries as municipal waste.

Bring used batteries to the nearest SoftBank Shop or recycling center after insulating the terminals with tape.

Be sure to observe local regulations on battery disposal.

■ Handling Handset



WARNING



Do not use while operating a vehicle (car, motorcycle, bicycle, etc.)

May cause a traffic accident.

Use of a mobile phone while driving is prohibited by law, and is subject to penalty.

Stop vehicle in a safe location (where parking is allowed) before using handset.



Keep handset power off near high precision electronic devices or devices using weak signals.

Failing to do so may interfere with the device operation.

* Examples of such devices:

Hearing aids, implanted cardiac pacemakers, implanted defibrillators and other electronic medical equipment; fire alarms, automatic doors and other automatic control devices.

Safety Precautions

	Keep handset power off aboard an aircraft. Disable auto power-on functions (such as the alarm function) before turning off handset. May jeopardize safety of the airplane. Handset operation aboard an airplane is prohibited by law and subject to penalty.		Keep handset away from your ear when calling in handsfree mode. When playing games or music with Earphone-Microphone connected to handset, adjust the volume properly. If the volume is too high, it may impair your hearing. If surrounding sounds cannot be heard clearly, it may result in an accident.
	If you have a weak heart, be careful with incoming call vibrator and ring volume settings. These may affect your heart.		Do not place handset on the dashboard close to airbags. In case of airbag inflation, handset may hit passengers resulting in injury, malfunction or breakage.
	If thunder is heard outside, retract Antenna, immediately turn handset power off and move to a safe place. Failing to do so may attract lightning and cause electric shock.		If Display or Camera Lens is damaged, be careful of broken glass pieces or exposed internal components. The Display's reinforced glass prevents shattering; however touching broken glass edges and exposed pieces may cause injury.
	Do not point infrared beam at anyone's eyes. May cause eye injury.		Do not allow fluids such as water, metal pieces or flammable materials to enter USIM Card Slot or microSD™ Memory Card Slot. May cause fire, electric shock or malfunction.
	If you use electronic medical equipment, do not place handset in breast pocket or inner coat pocket. Using handset near electronic medical equipment may cause the equipment to malfunction.		

CAUTION

	If handset affects car electronics, stop use. Handset use may affect electronics in some car models and impair safe driving.
	If skin abnormality occurs with use of handset, immediately discontinue use and consult a doctor. Handset contains metal material. Depending on your physical condition, you may experience itchiness, rash, etc.
	Keep magnetic cards away from handset and make sure that a magnetic card is not trapped when closing handset. Failing to do so may cause magnetic data on a cash card, credit card, telephone card or floppy disk to be lost.
	Do not swing handset by Antenna, Strap, etc. Handset may strike you or people around you, or the strap may break, resulting in injury, malfunction or breakage.

	Use caution when using handset for an extended period as handset may become hot, especially in high-temperature conditions. Skin contact for extended period may cause low-temperature burns.
	Do not bring speaker close to the ear when making calls in handsfree mode or when ring tone/melody is playing. May impair your hearing.
	Be careful not to pinch your fingers or Strap when opening and closing handset. May cause injury or damage.
	Watch TV with adequate lighting and distance from Display. May contribute to impaired eyesight.
	Do not turn volume up too high when using earphones. Using earphones for extended periods at high volume may impair hearing or harm your ears.

Safety Precautions

	If Display breaks do not inhale or touch liquid crystal. If liquid crystal enters your eyes or mouth, immediately rinse with clean water and consult a doctor. If liquid crystal adheres to your skin or clothing, immediately wipe off with alcohol and wash with soap and water. May result in losing your eyesight or harming your skin.
	Do not use in crowded locations. Antenna may hit other persons causing injury.
	Do not use Antenna if broken. May cause burns or injuries upon skin contact.
	Keep magnetized objects away from handset. May cause operation errors.

■ Handling USIM Card



CAUTION



Be careful handling the Notch when removing USIM Card (IC chip).

May injure your hands or fingers.

■ Handling AC Charger



WARNING



Do not place Charger on a sloping or unstable surface during charging.

May cause handset to fall resulting in malfunction.



Do not cover with clothing or bedding during charging.

Heat may build up resulting in fire or malfunction.

	Use the specified power supply and voltage. Failing to do so may cause fire or malfunction. AC Charger: 100 to 240 V AC (for household AC outlets only) Also, do not use commercially available transformer for travel use. May cause fire, electric shock, or malfunction.	 When plugging AC Charger into outlet, keep conductive materials (pencil lead, metal parts, necklaces, hair pins, etc.) away from AC Charger plug/terminals and plug Charger firmly into outlet. Failing to do so may cause electric shock, shorting, fire, or other dangers.
	Hold and unplug AC Charger from outlet if handset is not used for an extended period of time. Failing to do so may cause electric shock, fire or malfunction.	 Do not touch AC Charger with wet hands. May cause electric shock or malfunction.
	If liquid (water, pet urine, etc.) gets into AC Charger, immediately unplug AC Charger from outlet. Failing to do so may cause electric shock, smoke emission or fire.	 If thunder is heard, do not touch AC Charger. May cause electric shock.
	If dust or dirt has gotten on the plug, hold and unplug AC Charger from outlet and wipe off with a dry cloth. Failing to do so may cause fire.	 Do not use AC Charger in humid places such as in bathrooms. May cause electric shock.

Safety Precautions

	Do not short-circuit Charger Terminals when Charger is plugged into an outlet. Do not touch Charger Terminals with your fingers, etc. May cause fire, malfunction, electric shock or injury.
	Do not place heavy objects on the cord of AC Charger. May cause electric shock or fire.



CAUTION



When AC Charger is connected to an outlet, do not pull on cord or otherwise subject Charger to strong shock.

May cause injury or malfunction.



Firmly hold plug and unplug AC Charger from outlet before cleaning.

Failing to do so may cause electric shock.



Do not unplug AC Charger by pulling the cord. Firmly hold plug and unplug AC Charger.

Pulling the cord may damage the cord resulting in electric shock or fire.



Do not charge a wet battery.

May cause battery to overheat, ignite or rupture.



Unplug Charger from outlet when charging is finished.

Failing to do so may cause fire or malfunction.



Near Electronic Medical Equipment

- The following information conforms to “The Guidelines on Use of Mobile Phones and Other Devices to Prevent Electromagnetic Wave Interference with Electronic Medical Equipment” (Electromagnetic Compatibility Conference Japan, April 1997), as well as refers to “The Investigative Research Report on the Influence of Electromagnetic Waves on Medical Equipment” (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

WARNING



If you use an implanted cardiac pacemaker or implanted defibrillator, carry and use handset at a distance of at least 22 centimeters away from the implanted area.

Radio waves may interfere with the operation of implanted cardiac pacemakers or implanted defibrillators.



When using electronic medical equipment other than implanted cardiac pacemakers/defibrillators outside of medical institutions, consult device manufacturer about the influence of radio waves.

Radio waves may interfere with the operation of electronic medical equipment.



Observe the following in medical institutions. Radio waves from handset may affect electronic medical equipment.

- Do not bring mobile phones into an operating room, ICU (Intensive Care Unit) or CCU (Coronary Care Unit).
- Turn off mobile phones in hospital wards. Disable auto power-on functions (alarm, etc.) before turning off mobile phones.
- Turn off mobile phones even in lobbies or areas where use is permitted if there is electronic medical equipment nearby.
- Observe the instructions of individual medical institutions and do not use or bring mobile phones into prohibited areas.



Keep handset power off in crowded places such as in packed trains because a person with an implanted cardiac pacemaker or implanted defibrillator may be nearby. Disable auto power-on functions (alarm, etc.) before turning off mobile phones.

Radio waves may interfere with the operation of implanted cardiac pacemakers or implanted defibrillators.

General Notes

Usage Basics

- As handset uses radio waves, it cannot be used where signals are weak or when it is out of service area. If you move to a place with poor signal reception (e.g. beside/inside a building, in a tunnel, underground or mountain area), calls may be suddenly cut off.
- Take care not to disturb other people when using handset in public places.
- If you receive a call while walking, move to a safe place before answering.
- SoftBank accepts no liability for any damages arising from loss or alteration of data (Phone Book, images, sound, etc.) stored on your handset or microSD™ memory card as a result of accident or malfunction. Back up important data such as Phone Book entries.
- Handset is a wireless station under Japanese Radio Law. You may be requested to submit your handset for inspection based on this law.
- Using handset near a landline phone, TV or radio may affect the operation of these devices. Use handset as far away as possible from these devices.
- Be aware of eavesdropping. Handset employs a digital signal that provides a high level of privacy protection. However, the possibility of eavesdropping by a third party using special means cannot be ruled out.
 <Eavesdropping>
 Interception of radio signals by a third party during communication, either intentionally or accidentally
- Do not trap Strap or other objects when opening and closing handset. Doing so may cause malfunction or damage handset.
- Display has a protective film to ensure safety (prevent shattering) due to breakage if dropped or subjected to impact. Do not forcefully remove or damage this film.
 May cause injury.
- Using handset on trains or other public transportation may, in some rare cases, affect their electronic devices.
- A call may not be connected or you may hear noises:
 - In an extremely cold place (e.g. freezer storehouse) where handset may not operate normally
 - Near metal furniture which may interfere with signal transmission
 - Near electromagnetic sources or magnetized items, including electric products, audio-visual equipment and office appliances (e.g. computer, microwave oven, speaker, TV set, radio, fax machine, fluorescent lamp, word processor, electric kotatsu, inverter-driven air conditioner, electromagnetic cooker)

General Notes

- Bluetooth devices operate at the same frequencies assigned to licensed in-house radio stations (in factory production lines), specific unlicensed low power radio stations, and licensed amateur radio stations (hereafter, "another radio station") for mobile identification in addition to scientific, medical, or industrial devices (microwave ovens).
 - 1 Make sure that "another radio station" is not operating nearby.
 - 2 If this equipment interferes with an in-house radio station, immediately change frequency, move to another place or stop transmission, and contact the following for advice (setting up of partitioning, etc.).
 - 3 If interference between this equipment and a specific low power radio station or amateur radio station occurs, contact the following.
 - SoftBank Customer Center From SoftBank mobile phones 157 (toll-free)
 - (From any other phones, refer to "Contact" (P.15-53))
- If Battery appears deformed or scratched from external impact, contact Customer Assistance.
- Keep a backup copy of data saved to handset. SoftBank accepts no liability for any loss of data stored on your handset.
- Do not sit with handset in back pocket of trousers or skirt. Do not place at bottom of bag where handset will be subject to excessive weight. May cause malfunction.
- If you use handset for the first time or after an extended period of disuse, charge Battery before using handset.
- Battery operating time varies by the usage environment and the condition of Battery.
- Do not charge Battery:
 - In a humid, dusty, or shaky place
 - Near a landline phone, TV or radio
- Although AC Charger may become warm while charging, it is not a malfunction.
- Do not subject handset to excessive shock. Do not deform Charger Terminals. Doing so may cause malfunction.
- Charge in a location with an ambient temperature within the appropriate range (5 to 35 °C).
- When Battery life nears its end, it may expand slightly. This is not a malfunction.
- Handset's FeliCa reader/writer function uses ultra-weak radio waves not requiring radio licensing. Operates at 13.56 MHz range. Maintain enough distance when using other reader/writers nearby. Be sure to check that other wireless stations operating at the same frequency range are not nearby.
- Keep handset away from strong magnetic force. May cause malfunction.
- Do not scratch Display with metal objects, etc. Doing so may damage Display resulting in malfunction or breakage.

- Do not insert sharp/hard objects in earpiece/speaker. May cause malfunction or damage.
- When handset is open, a gap forms between the Display backside and keypad. Keep foreign objects or liquids (water, metal fragments, flammable materials or any other foreign objects) from entering gap.

Inside Cars

- Do not use handset while driving. Doing so may compromise safe driving and cause an accident. Handset operation in a car may be punishable by law.
- Before using handset, stop the car in a safe place.
- Handset use may affect electronics in some car models. Confirm with your car dealer whether sufficient magnetic protection measures are implemented in your car. Failing to do so may compromise safe driving.

Aboard Aircraft

Never use (or even power on) handset on an aircraft. Doing so may compromise flight safety and cause an accident. Handset operation aboard an aircraft may be punishable by law.

Handling

- Keep away from liquids and moisture.
Handset, Battery, AC Charger and USIM Card are not waterproof. Do not use them in the rain or in other humid places (e.g. bathrooms). When carrying handset near your body (pockets, etc.), moisture from sweat may corrode internal parts and cause malfunction. Damage caused by moisture, as mentioned above, is not be covered by the warranty and repair may not be possible.
- Use a dry soft cloth (e.g. eyeglass cloth) to wipe handset.
Handset's color LCD may be treated with special coating for enhanced visibility. Rubbing Display with a dry cloth may scratch the surface. Clean handset carefully using a dry soft cloth for eyeglasses. If moisture or soil is left on Display, the coating may stain or peel off.
Do not use alcohol, thinner, benzene or detergent, as it may cause discoloration and remove printed logos.
- Occasionally clean Terminals with a dry cotton swab.
Soiled Terminals may cause poor contact resulting in power failure and insufficient charging.

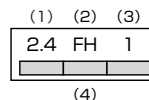
General Notes

- Do not place handset near an air conditioner vent.
Condensation may form due to abrupt temperature changes, leading to internal corrosion and malfunction.
- Do not apply excessive force to handset and Battery.
Placing handset in a bag packed with many items or sitting down with handset in your pocket may damage Display, Internal Circuit Board or Battery, and cause malfunction.
Doing so with external device connected to External Device Port may damage connector, leading to malfunction.
- Although handset becomes warm while being used or charged, it is not a malfunction.
- Do not leave the Camera Lens exposed to direct sunlight.
Doing so may discolor or burn Optical Element.
- Do not affix thick stickers or labels to the Display or Keypad side.
Doing so may result in malfunction.
- Do not leave Battery removed or uncharged for an extended period of time. Doing so may alter or erase the settings and data you saved. SoftBank accepts no liability for any damages resulting from such loss or alteration.
- Do not store empty Battery.
Doing so may degrade performance and shorten life of Battery.
- Keep the covers of External Device Port and microSD™ Memory Card Slot closed.
If they are left open, dust or water may get inside handset causing malfunction.
- When removing Stereo Earphone Conversion Cable or AC Charger from External Device Port, do not pull the cord, hold the connector. Pulling the cord may result in wire breakage or malfunction.
- If you use an outlet with pullout prevention feature, refer to the instruction manual of the outlet.
- Avoid extremely cold and high temperatures.
Use handset at an ambient temperature of *5 to 35 °C, and a humidity of 45 to 85 %. If handset is left in an extremely hot place, handset may power off automatically.
- Battery is a consumable item. Replace Battery with a new one if the operation time becomes extremely short even after it is fully charged (depends on conditions of use). Purchase a new battery designated for handset.
- Charge Battery at an ambient temperature of 5 to 35 °C.

- Bluetooth function should only be used within Japan. Handset' s Bluetooth function complies with and has obtained certification for Japanese wireless standards.
You may be subject to penalty if used abroad.
- The FeliCa reader/writer function should be used within Japan. Handset' s FeliCa reader/writer function complies with Japanese wireless standards and you may be subject to penalty if used abroad.
- The IC card authentication function should be used within Japan. Handset' s IC card authentication function complies with wireless standards and has obtained certification.
You may be subject to penalty if used abroad.
- Do not attach USIM Card with labels or stickers attached to handset.
May cause malfunction.
- When connecting an external device, do not insert the connector into External Device Port at an angle. When external device is connected, do not pull the cord.
- Do not use handset without Battery Cover.
Battery may dislodge and result in malfunction or breakage.
- Do not attach labels or stickers to the backside of handset' s Display.
Labels or stickers may catch when handset is opened or closed, resulting in malfunction or breakage.
- Handset incorporates a security function compliant with Bluetooth standards for security with Bluetooth communication. However, security may be insufficient depending on such factors as settings. Care is required for communication using Bluetooth.
- SoftBank accepts no liability for leak of data or information during communication using Bluetooth.
- Handsfree/remote control features are available only with compatible Bluetooth devices (headsets, audio devices, etc.).
- Frequency range

Frequency range usable with handset' s Bluetooth function are as follow.

- (1) 2.4 : Wireless facilities employing 2400 MHz range
- (2) FH : Modulation method is FH-SS method
- (3) 1 : Estimated distance from which device causes interference is 10 m or less
- (4)  : Device uses all radio frequencies form 2400 MHz to 2483.5 MHz, and it is not possible to avoid the frequencies used by mobile object identification systems



General Notes

● Precautions using Bluetooth device

This product operates at radio frequencies assigned to licensed in-house radio stations used in production lines of a factory, specific unlicensed low power radio stations, and amateur radio stations (hereafter, referred to as "another radio station") for mobile identification in addition to scientific, medical, or industrial devices such as microwave ovens.

1. Before using this product, make sure that "another radio station" is not operating nearby.
2. If radio interference between this product and "another radio station" occurs, move immediately to another place or stop radio transmission to avoid interference.
3. Contact "SoftBank Customer Center, General Information (P.15-53)" on the back of the guide for details.

● To use Earphone-Microphone (sold separately), you must connect Stereo Earphone Conversion Cable into External Device Port.

Stereo Earphone Conversion Cable

● Do not force connector into External Device Port. Connector may be the wrong way around. Check direction of connector before inserting to avoid damage.

● When using earphones to make/take calls, earphones must be equipped with a microphone to transmit your voice.

● You can also hear monaural sound (phone conversation, etc.) in both left and right earphones when you connect a stereo earphone to Stereo Earphone Conversion Cable.

When a monaural earphone is connected, you can only hear the left channel of stereo audio.

● Do not expose Stereo Earphone Conversion Cable to excessive shock or throw it at something.

● Do not place heavy objects on Stereo Earphone Conversion Cable.

● Beware of use while driving a vehicle. Holding and using a mobile phone is subject to penalty. If it is necessary to receive a call, indicate that you will call back with handsfree, and call back after stopping the vehicle in a safe location.

Camera

Creating public disturbances from using handset may be subject to penalties based on applicable laws and regulations (e.g. nuisance prevention ordinance by municipal governments).

Speaker

Since handset's receiver (earpiece) also acts as a speaker, there is the possibility of loud sound directly entering your ear such as when playing back sound or a call is received. Loud sound impacting your ear may impair hearing. As soon as a call has ended, be sure to distance handset from your ear.

Touch Sensor

Do not press Touch Sensor with excessive force or use sharp objects (finger nail, ballpoint pen, pin, etc.). May damage sensor.

Copyrights

Copyrighted materials, such as music, images, computer programs and databases, and their respective copyright holders are protected by copyright laws. Duplication of copyrighted materials is permitted only for individual or home use. Duplications (including data conversion), modifications, transfers or network distributions of copyrighted materials for purposes other than stated above without permission of the copyright holders constitute an infringement of copyrights and violation of copyright holders' rights, potentially causing claims for reparations or criminal punishment.

Always observe applicable copyright laws when making copies using handset and recording materials using handset camera.

The software installed in this handset is a copyrighted material and involves copyrights and human rights of copyright holders which are protected by copyright laws. Do not duplicate, modify, alter, detach from the hardware, disassemble, decompile or reverse-engineer the software in whole or in part by yourself, nor allow any third party to do the same, either.

Functional Limitations

After handset upgrade, subscription cancellation or long periods of handset disuse, TV becomes unavailable.

Caution

Do not use handset if it has been altered. Using an altered device is a violation of the Radio Law.

This handset is certified to conform to the technical standards for specific radio equipment based on the Radio Law, and Technical Conformity Mark  is printed on the model name seal as certification. If you remove screws and make alterations inside of handset, the technical standards conformity certification becomes invalid. Do not use handset with the certification invalid, as it is a violation of the Radio Law.

SAR Certification Information

830N meet the technical standards set by Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC) regarding radio wave absorption by a human body.

These technical standards have been established on a scientific basis to prevent radio waves emitted from wireless devices such as mobile phones that are used close to a human head from affecting human health. These standards require that the SAR (Specific Absorption Rate), an indicator of the amount of average radio frequency energy absorbed in the side of a human head, must not exceed the permissive value of 2 W/kg*. This value includes a substantial safety margin to assure the safety of all persons, regardless of age and physical size. The value is equal to the international guideline recommended by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP) that has a cooperative relationship with the World Health Organization (WHO).

* The technical standards are stipulated in the Radio Law (Article 14-2 of Ordinance Regulating Radio Equipment).

The highest SAR value is 0.362W/kg for 830N. This value was obtained in accordance with the MIC testing procedure with handset transmitting at its highest permitted power level. While there may be differences in SAR levels among individual products, they all meet the MIC's permissible value. Because mobile phones are designed to operate at their minimum power level required to communicate with base stations, the actual SAR of handset during a call is usually below the highest value.

For further information about SAR, see the following websites:

- Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)
<http://www.tele.soumu.go.jp/e/ele/index.htm>
- Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)
<http://www.arib-emf.org/initiation/sar.html> (Japanese)

SoftBank's Body SAR Policy

- * Body SAR: The SAR value at the maximum transmission power when continuously talking with handset placed on the body and using earphone-microphone.
- ** Specific Absorption Rate (SAR): The value measured when having talked continuously for 6 minutes.
- *** Placement on the body: Measurements are taken with the rear of handset facing the body at a distance of 1.5 cm as the ordinary handset position. In order to comply with radio frequency exposure requirements, use an accessory (e.g. belt clip, holster) that does not contain metallic parts to maintain a 1.5 cm separation between the body and handset.

For further information, see the following SoftBank website:
<http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.html>

European RF Exposure Information

This handset 830N is a radio transmitter and receiver. This product has been confirmed not to exceed the limits recommended by international guidelines for radio frequency.

These guidelines were developed by the independent scientific organization International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP) and include a substantial safety margin to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The influence on the human body of radio waves emitted from mobile phones is measured employing a unit known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg. The maximum SAR value for this model handset, when placed on the ear, is 0.292W/kg for 830N*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in SoftBank's Body SAR Policy. In this case, the maximum SAR value is 0.438W/kg for 830N.

Since the SAR is measured at the highest transmitting power level, the actual SAR during a call is usually much smaller. This is because mobile phones are designed to operate at their minimum power levels necessary to communicate with base stations.

The World Health Organization (WHO) has stated that present scientific information about mobile phone use does not indicate any adverse effects on the human body. They recommend limiting the talking time or using a handsfree device to keep the mobile phone away from the head and body to reduce influence of exposure to radio waves.

Additional information can be found at the WHO website:
<http://www.who.int/emf>

- * Measurements with handset placed on the body are carried out in accordance with the FCC standards. The values are based on European requirements.

Declaration of Conformity

CE 0168

The products "830N" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2.

The Declaration of Conformity can be found on the following website:
<http://www.n-keitai.com/>

Minding Mobile Manners

Use your handset responsibly. Inappropriate handset use can be both dangerous and bothersome. Take care not to disturb others when using your handset. Adjust handset use according to your surroundings.

- Turn handset power off in theaters, museums and other places where silence is the norm.
- Refrain from use in restaurants, lobbies, elevators, etc.
- Observe signs and instructions regarding handset use aboard trains, etc.
- Refrain from use that interrupts the flow of pedestrian or vehicle traffic.

